

尿素水中に砂、ほこり、水等が混入すると、重大な不具合、システムの故障につながる恐れがあります。尿素水を給水・保管する際は、お取扱いにご注意ください。

尿素水および尿素SCRシステムとは？

尿素水とは、無色透明無臭の尿素32.5%、純水67.5%の液体です。色がついている場合は変質または粗悪品の恐れがありますので、使用しないでください。

尿素SCRシステムとは、エンジン稼働中に尿素水を排気ガスと混合し、排気ガス中の窒素酸化物を浄化する最新の排気ガス規制に適合したシステムです。尿素水(AdBlue® 相当)は、以下のいずれかの規格に適合したものを使用してください。

日本工業規格 : JIS K2247
国際標準化機構: ISO 22241

尿素水を給水する際の注意点

- 作業する際は、保護眼鏡またはゴーグル、ゴム手袋などの保護具を着用してください。
- 給水ノズルに汚れがある場合は使用前に清掃してください。
- 給水口キャップは青色です、誤って尿素水以外のものを補給しないでください。



- 給水口キャップ周辺を清掃してください。キャップ脱着の際は、砂、ほこり、水等がキャップ内側およびタンク内に侵入しないよう注意してください。
- キャップまたは、その周辺に尿素水の白色の結晶がある場合は、きれいなウエスで除去してください。

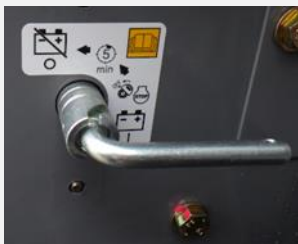


尿素水を保管する際の注意点

- 保管容器内に砂、ほこり、水等が浸入しないよう、清潔な場所で保管してください。
- 指定の尿素水は、 -11°C から凍り始めます。補給前の尿素水を保管する際は、 $-10\sim 30^{\circ}\text{C}$ の範囲での保管を推奨します。 40°C 以上になると劣化が進みやすくなります。
- 保管容器は専用のポリエチレンまたはステンレス容器を利用してください。また、尿素水が蒸発しないよう、密封して保管してください。
※尿素水は鉄、アルミ、PET樹脂製品等を腐食させる恐れがあります
- 尿素水および空容器は、湖沼、海域、河川などへ廃棄しないでください。廃棄する場合は、都道府県知事に許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、適切に処置してください。
- 尿素水を携行する際は、清潔な尿素水専用の容器を使用してください。他の目的で使用した容器の使用は避けてください。

機械使用上の注意点

- バッテリーディスコネクトスイッチは、エンジンが停止した状態から5分以上経過してから操作してください。もし、エンジン停止から5分以内にバッテリーディスコネクトスイッチをOFFにした場合、本体の尿素SCRシステムに不具合が生じる可能性があります。



安全上の注意点

- 尿素水が身体に付着したときは、体質によってはまれに炎症を起こすおそれがありますので、直ちに大量の水で洗い流してください。異常が認められる場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- 尿素水を誤って飲んだ場合は、コップ1～2杯の水または牛乳を飲み、直ちに医師の診断を受けてください。
- 尿素水が目に入った場合は、すぐに大量の水で15分以上洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

● 尿素水の点検、交換及びフィルタの交換方法は取扱説明書に基づき実施して下さい。